

令和元年度 地域自立支援協議会交流会

どうすれば、私たちは「声なき声」をきけるか

～テーマを選んだ理由～

東京都自立支援協議会 副会長
自立生活センターSTEPえどがわ
曾田 夏記

皆さんの協議会に、障害者の声は届いていますか？

1. そもそも、地域の自立支援協議会に障害のある委員はいるのか？

- ・H30年度の調査の結果：設置済み57区市町村の自立支援協議会のうち
 - ⇒ 全体会に障害のある委員がゼロの自治体数 8
 - ⇒ 関係者ショック！
- ・でも、「障害のある委員」がいたとしても・・・

皆さんの協議会に、障害者の声は届いていますか？

2. 障害のある委員は、自立支援協議会で意見を伝えられているのか？

・参加するために存在する、さまざまなバリア

(例)

－ むずかしい資料

－ 時間がない中での議論

⇒ ついていけないのは、「障害のある委員」だけか？

⇒ 「参加したい」と思える自立支援協議会になっているのか？

皆さんの協議会に、障害者の声は届いていますか？

3. 地域にいる障害者の声は、自立支援協議会に届いているのか？

- ・「障害のある委員」も「障害のない委員」も、自立支援協議会に「地域の障害者」の声を届けられているのだろうか？
- ・地域の障害者の声を、中でも届きにくい人の声をすくいあげるには、どうしたらいいのだろうか・・・？

交流会の目的

- ・みんなで考え、良い事例を共有
 - ⇒ 自分たちの自立支援協議会に確実に活かせるように
- ・「どうすれば聞けるか」よりも、「聴きたい」という心からの想い